

# ひろば大代

NO. 187

大代公民館

## 御見舞

大代公民館

このたびの阪神大震災で被災されました皆様へ心から御見舞申し上げます。なお一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

成人の日を迎えて

八反田 竹間裕二



今年で私も学業を終え、社会人としての一步を踏み出そうとしています。この二十年間、長かったようで大変短いものでありました。全てが勉強の毎日で一人前になるために励んできました。

今私は二十年間の知識を充分に生かし社会へ出て行こうとしています。これから私に訪れるものは何か私自身未知なことです。予想が付きません。しかしこれから起こる人生に私は現実を直視

し、逃げることにしないよう立ちむかっ  
ていくつもりです。

私は今二十才。自分ではピンと来ない  
感じがします。これからは大人として  
一人前として世間は見てくれる訳で  
すが、まだまだ私は子供心が残って  
いるようにいきなり大人にはなりきれ  
ません。これからも勉強を怠らず立派な  
大人になれるよう努力したいです。

私は成人を迎えて一つの大きな柱を  
立てました。それは、

「人に優しく、自分に厳しく」という柱です。

理由を述べると、困っている人や悲  
しんでいる人がいれば、その人の気持  
ちになって優しく接してあげる。喜ん  
でいる人がいれば一緒に喜んであげる。  
そして、自分には厳しく、甘えている  
部分もかなり持っている。その甘え  
を取り除くことを目標にしています。

そして何よりも笑顔をやさず、相  
手が快く接してくれるように頑張るつ  
もりです。

今、まだ二十才を迎えず勉学に励ん  
でいる人たちは、学校の勉強はもちろ  
んの事、人付き合いの良い人間性を身

につけるように努力して下さい。き  
と大人になってから役立つことです。  
必ず暗い人にだけはならないで下さい。

大代の古跡をたずねて

近世（江戸時代）の石碑めぐり

植松 渡 吉正

江戸時代、この地方の石碑はそのほ  
とんどが福光石（温泉津町福光産）で  
したので、古くなると風雪で磨滅して  
崩壊したものが随分あったであろうと  
思われます。

今日、ご紹介する石碑は古いもので  
二百六十年前のものから新しいもので  
百三十八年前のもので、陰刻した文  
字は剥落して見えない所もありました。  
一、石清水八幡宮境内の石灯笼

直径三十五センチ、高さ二メートル  
の円柱の上に六十センチの角型灯笼で  
庭灯笼が形造られています。円柱には  
縦に「享保二十年（一七三五）乙卯六  
月吉日神主（中央）大宮大和守、（右  
側）飯田出羽守、（左側）蒔田因幡守  
」と深彫され、円柱の裏側下部に「福  
光村石工山中、重田、坪内願」とや、

小さく陰刻されています。

享保二十年といえは享保の大飢饉が襲った三年後のことです。神主（主宰）の大宮氏は天文三年（一五三四）八幡宮創立期から累代の神主、蔦田氏は四日市組（旧飯田村）のお宮の神主、蔦田氏は八反田組（旧蔦田村）のお宮の神主です。

当時（江戸中期）は八幡宮にはこの三神主が祭司していました。

この灯籠は福光村の山中、重田、坪内三氏の石工が願をかけて八幡宮へ寄進したもののように、他の銘文は見当りません。

当時としては大変立派な大石灯籠でいま見ても見事なものです。

二、正法寺境内の名号石

山門への参道手前の石橋を渡ると直ぐ左手に「南無阿弥陀佛」の六字名号を刻んだ自然石が据っています。

石の大きさは高さ一七七センチ、横幅六五センチで山型です。右側面には「願主藤井七兵衛安輝」左側面には「文化七年（一一八〇）歳庚午孟夏吉日」「当山住持菅良遊上人代」と刻まれています。

願主の藤井七兵衛は武家であることは分かりますが、どのような人物だったかは不明です。良遊上人は正法寺二十五世のご住職で四日市の旧街道に石の標柱を建てた方です。

三、井戸平左衛門正明の頌徳碑

井戸公の頌徳碑は町内には七基あります。

(1) 飯谷（浄願寺境内）(2) 本郷

(3) 八反田（中垣昌文氏右隣）

(4) 四日市（市道四日市山手線入口）

(5) 椿 (6) 川上（市道川上線鳴ヶ鼻付近）(7) 上市（正法寺境内）

その中でも建立年代が明記され、最大なものとしては正法寺境内の頌徳碑です。形は蓋石形で正面の陰刻は「井戸君報徳碑」と深彫。更に左側面と右側面に碑文が刻んであります。「安政三年（一八五六）歳丙辰……」の年記が見られて大田市内では最も多くの碑文が刻んであるものとして大変貴重なものと言えましょう。

井戸平左衛門正明は石見銀山御料百三十方村、四万八千余石の江戸幕府の大森代官で十九番目に赴任して来た代官（享保十六年九月、同十八年四月）

です。丁度、享保大飢饉の最中、井戸代官は義援金を募り、他国からの米穀類を買い入れ、年貢米の減免を行う一方、薩摩国から唐芋（さつま芋）を導入し、御料民を救ったと伝えられています。

石東地方（旧石見銀山御料）で頌徳碑が建てられるようになったのは天保二年（一八三一）の頃からで、井戸代官没後もはや九十八年が経ってからです。現在、石東地方の石碑は凡そ百五十基の頌徳碑が数えられますが大森町内に一基しか見当たらないことから、これは幕末となり、幕府権力の失墜（財政の窮乏による）の回復を狙ったものという考え方もできます。

四、四日市の道標

大代中学校々舎の裏道（旧道）を西へ行くと市道四日市山手線と交叉する土堤に高さ八十八センチ、幅二二、五センチ、厚み十一センチの石塔があります。

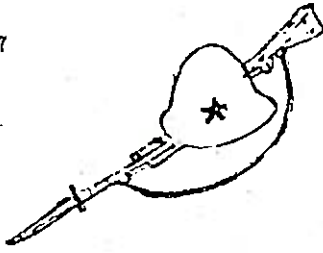
石塔は表面に「右にした大もり通」「中ゆさとゆのつみち」「左ふくた住こう通」裏面は「文化五年（一八〇八）良遊」と刻まれています。

通を後返りすると江戸時代は正法寺の正面参道の所へ出ました。正法寺二十五世の良上人は旅人が道に迷わぬよう道標を建てられました。

この道標は昭和五十二年九月に四日市の故佐々木又市さん(当時七十四歳)が、土中から掘り出したもので、私に調査を依頼され、新聞にも発表しました。この道標は大田、遼摩地方に残る五基の内の一基で歴史的に大変貴重なものです。

近代の石碑は又の機会に踏査して発表しましょう。

戦時体験記



7 投降勧告ピラ



本郷 増田長之助

先般の「大代ひろば」には紙面の都合もあり省略しましたが、参考になればと思ひ全文を紹介します。

八月二十一日撤布せられたピラ表には

日本軍将兵諸君

戦争は終わつた！日本降伏す！

八月十五日鈴木首相は天皇陛下を代表し枢密院の承諾を得て、帝国の陸海軍をして無条件降服せしめた。

現在の状況は左記の如く、二十三年間の研究と数億ドルの費用の結果、米国の科学者は遂に原子力エネルギーの使用方法を発見した上、新しい原子式爆弾を製造した。

この原子式爆弾は、空前のものすごい破壊的威力があつて、例えば八月六日、一弾のみで広島市の六割を全滅したのである。

其の次の日、八月七日、ソ連は日本に対し宣戦したので赤軍は満州、朝鮮に膨大に突入前進したのである。

日本残留艦隊、航空隊は全滅状態と共に右の事件のため、日本政府は余儀なく内地の都合や工業等の完全消滅を避けるため、残留陸海軍は場所を問わ

ず、付近の連合軍指令部に降服するよう大本営から命令を受けているので、裏に書いた指示に従わねば諸君は無暗に犬死するのである。

昭和二十年八月十五日

米軍第十軍指令部

軍団長 F.C サイバート小将

裏には

一、即時将兵共に移動を開始し、有らゆる道路を利用しキバウエ、バレンシヤ、マライバライの各道路の集合点に集合すべし。

一、負傷者及病人を一人残らず連れて来る事。我方に着き次第、手厚い看護を与う。

一、一つの集合点に着くまで武器を持って来る事。然し集合地点に着き次第に武器弾薬及び他の兵器を一方所に積み上げること。

(以上述べたことは重大なるが故に厳守せられた。)

一、日中移動し、夜間は路傍に露営する如く指示すべし。

一、諸君に傷害を与えぬよう土民兵に注告してある。

こうしたピラも日本軍引き出し策と  
思考、投降せず、次に多少文面は異な  
りますが我々の三十師団長両角業作陸  
軍中将署名のピラが撤布されしも、何  
れも謀略だと投降せず。

遂に航空隊准尉が兵数名を連れ、使  
者として来る。

部隊長以下将校は、使者の准尉と膝  
つき合わせ話し合い、兵は部隊の兵と  
起居を共にし、言動を探り、その結果  
敗戦が事実であることを確認、投降に  
踏み切ったのである。

俳句

甲高く 一声残し 寒鴉

木枯や 車窓に風の 音けして

武田しまこ

丸太並ぶ如く寄り合い 寒の鯉

初雀庭の笹竹 宿として

渡 あやこ

土に生き八十路をこえし わが姑の

働く姿 孫に教えむ

今田ふみこ

寒の入り豊作の雪 願いつつ

斎藤やすこ



雪掻いて狭庭に積むや 寒きわみ  
水仙の瓶に香るや 春を待つ

山根みさこ

俳句集「藍色の空」より

大田市 原田萬里

大雪といえど小春の暖かさ

七草を炊く厨房の朝明ける

朝毎に数を重ねる梅の花

ふる里の小川を跨ぎ芹を摘む

子等育ち二人暮しの寒が明け

吐く息の白さが目立つ今朝の冷え

大寒の海荒れ風紋露なり

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

◆7日(火) 編集会議

◆10日(金) 公民館運営委員会

◆12日(日) 婦人会役員会

◆16日(木) J A 腹部健康診断

◆17日(金) //

◆18日(土) 講演会 寿会 公民館共催

講師 波北彰真先生

演題 「人生のほほえみ」

公民館で午前十時～十一時半

皆様ぜひお出かけください。

◆19日(日) 福祉弁当

◆22日(水) 連合自治会

◆26日(日) 閉校記念学習発表会

「ありがとう大代中学校」

午前九時～中学校にて

◆28日(火) 出張申告

公民館で午前九時～午後四時

★——★おしらせ★——★

◎大代公民館より

大阪府 田中公道 様

大阪市 頼田正義 様

それぞれ金一封の御厚志を頂きました。

た。厚く御礼申し上げます。

◎社協大代支部より

四日市 渡辺 功 様

香典返しに替えて金一封の御厚志を

頂きました。厚く御礼申し上げます。

◆◆ 消 息 欄 ◆◆

一月に亡くなられた方

四日市 渡辺一孝 様

山田 畑 サカエ 様

ご冥福をお祈り致します。